

第77回 全但U-10サッカー大会

1. 主 催 特非) 但馬サッカー協会 第4種委員会

2. 協 賛 全但スポーツ

3. 大会期日及び会場

第一日目 令和7年5月6日(火・祝) 豊岡市立玄武洞スポーツ公園

第二日目 令和7年5月11日(日) 兵庫県立但馬ドーム芝グラウンド

4. 参加資格

- 1) 日本サッカー協会第4種に加盟登録した団体及びその団体に所属する選手(2~4年生)で日本サッカー協会発行の登録選手証を有していること。
また、試合においては、日本サッカー協会公認コーチ(D級コーチ以上)のライセンスを有する指導者が1名以上ベンチ入りすること。

5. 競技規定

- 1) ルール 日本サッカー協会競技規則(8人制)で、本年1月1日現在で伝達された内容とする。
- 2) ピッチ サイドライン60~80m・ゴールライン40~50mを基本とするが、タッチライン68m・ゴールライン50mが望ましい。ゴールの大きさは、少年用(内径で高215cm 幅500cm)とする。
- 3) 試合人数 8人制とする。
- 4) 試合球 (公財)日本サッカー協会公認4号ボールとする。
- 5) 登 録
 - ① 試合の選手エントリー人数は20名以内とする。
 - ② 別途案内の期日までに、メンバー表と選手証の提出を行う。
- 6) 試 合
 - ① 第一日目は3チーム3グループによるリーグ戦を行う。
各リーグ1位の3チームを第二日目のリーグ戦に選出する。
試合時間は40分とし、ハーフタイムは10分を超えないものとする。
リーグ戦方式の順位については、ア)からオ)の順序で決定する。ア) 勝点(勝3点、引分1点、負0点)
イ) 当該チームの対戦成績勝点(勝3、引分1、負0)、ウ) 得失点差 エ) 総得点 オ) 抽選
なお、リーグ戦方式において、棄権の場合は0対5の負けとする。
 - ② 第二日目は3チームによるリーグ戦を行う。
試合時間は40分とし、ハーフタイムは10分を超えないものとする。
なお、リーグ戦においては第一日目と同様とする。
- 7) 選手交代
自由な交代とし、登録選手の中から補助審判への申告後に、交代ゾーンでまず交代選手が退場した後に次の選手が入場できる。
- 8) 反則退場
 - ① 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
 - ② 試合中退場処分を受けた選手は、自動的に本大会の次試合の出場を停止する。
 - ③ その他不祥事により協会の名を汚した場合は、県協会規律フェアプレー委員会で処分を決定する。
- 9) ユニフォーム
 - ① 日本サッカー協会ユニフォーム規程に準ずる。
ただし、アンダーについては、チーム内で統一されていれば着用を許可する。
 - ② 試合当日、2組のユニフォームを用意すること。
 - ③ 靴のポイントは、交換式を認めない。
- 10) 給水
大会当日の天候状況により、前後半の各中間時に審判の判断と指示で30秒から1分間程度の飲水タイムまたは3分間のCooling Breakを取ることができる。
- 11) ベンチ
ベンチには、エントリー選手と指導者2名以上3名以内以外は入れない。
- 12) 雨 天
 - ① 雨天決行。但し、天災、警報等(開催地での気象など)で開催が危ぶまれる場合は、第4種委員会で協議し決定する。
 - ② 大会中急な天候の変化による落雷等の危険性が高まった時は、直ちにその試合を停止し、平穏になってから再開(リスタート)する。当日に再開できない場合は、第4種委員会で協議検討しチームに通知する。再開方法は、当日行う場合と同様のリスタートとする。

6. 表 彰

- 1) 優勝チームと準優勝チームには、トロフィー・表彰状を、3位には表彰状を授与する。

7. 規 律

- 1) 選手・指導者は、相手選手のみならず自軍選手に対しても紳士的態度で臨むこと。
- 2) 「本大会の懲罰は、(公財)日本サッカー協会の懲罰規定に準ずるものとし、
特非)但馬サッカー協会第4種委員会で協議の上、最終的には特非)但馬サッカー協会規律委員会で決定する

8. その他

- 1) 試合、運営等にて協会の品位を汚した者及びチームに対しは、規律部会を開催し懲罰の有無を協議する。
(保護者の駐停車違反・準備、片付けも含む)
※ 悪質と判断した場合、但馬協会の規律委員会にて判断を委ねる。
- 2) 誘導員の指示に従い、指定された駐車場以外、特に路上駐停車を禁止する。
- 3) チームで発生したゴミは持って帰ること。
- 4) 豊岡市立玄武洞スポーツ公園では管理棟前での駐停車は原則禁止とする。
- 5) 兵庫県立但馬ドームでの物品、選手の乗降については、必ず駐車場内で行う。